

未来へのパスポート

～今月のテーマ～

文化・芸術の秋!「町民のつどい」「たかちほハートフル作品展」
「佐藤義和鉛筆画展」「みやざき百人一首パネル展」を開催!

過ごしやすい季節となりました。稲刈りもそろそろ落ち着く頃……。みなさん。文化や芸術に触れ、心を豊かにしませんか。教育委員会では、11月に2つのイベントを開催します。**いずれも入場無料でどなたでも観覧できます。**この機会に文化・芸術に触れてみませんか。

2025「第33回町民のつどい」

高千穂のまちづくりと生涯学習ーいきいき活動ひろがる学習ー
～うるおいとやすらぎ 生きがいのあるまちづくりをめざして～

日時: 11月8日(土) 午後1時開会 / 会場: 高千穂町武道館

○アトラクション 押方保育園によるダンス

○講演 講師: 米良 美一 氏
演題: 「波瀾万丈物語」

○開会行事 はじめの歌(町歌・もみじ)
町民憲章朗唱(高千穂中学校生徒)
主催者あいさつ
高千穂町表彰

○活動発表 発表者: 高千穂いっチャがかるた 発起人 甲斐有香 氏
題目: 「高千穂いっチャがかるた 作成裏話と今後の展望」

○ステージ発表 高千穂高校ダンス同好会GRoW(ダンス)
河内青葉会(舞踊)
田原小の子どもたちと大いちょう歌劇団(合唱)

○閉会行事 おわりの歌(輝きの故郷)

※司会…高千穂高校生徒、手話通訳…手話サークルたかちほ



洗足学園音楽大学を首席で卒業。宮崎駿監督作品「もののけ姫」の主題歌を歌って一躍脚光を浴びる。

以後、カウンター・テナー歌手として世界的活躍を続け、現在ではコンサートや講演会、テレビ・ラジオにも多数出演し、親しみやすい人柄と個性豊かな語り口は、世代を越えて人気を集めている。

たかちほハートフル作品展

園児や小中高生の作品、町民の方が生涯学習活動や創作活動において制作した作品を展示します。

日時: 11月22日(土)～24日(月) 午前9時～午後5時まで

会場: 高千穂町武道館

～同時開催～

2025「線と線が織りなす鉛筆画」佐藤 義和 展

高千穂町出身の鉛筆画家。元小学校教諭で鉛筆画歴は約45年。

風景、人物、動物と様々なモチーフを線と線のクロス画で描かれています。暗い中にも光を残す、より深みのある雰囲気のある作品の数々。

佐藤義和(さとうよしかず)展を是非ご覧ください。

第30回若山牧水賞記念事業「みやざき百人一首」パネル展

全国の歌壇で活躍する歌人100人が宮崎にまつわる歌を歌った歌集「みやざき百人一首」のパネル展。

高千穂を詠んだ歌もあります。



昨年の作品展の様子



作品「アラン・ドロン」

多くの町民の皆さまのご来場をお待ちしています！

令和7年秋季全国火災予防運動

11月9日(日)～15日(土)までの7日間、秋の全国火災予防運動が実施されます。

これからの時季は、空気が乾燥するとともに、火を扱う機会も増えてきますので、火の取り扱いには十分注意し、火災予防に努めましょう。

また、住宅用火災警報器は、機器本体の故障や電池切れなどで火災を感知しなくなることがあるため、定期的に作動確認をしましょう。

◎2025年度全国統一標語 『急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし』

いのちを守る10のポイント

4つの習慣

- ①寝たばこは絶対にしない、させない。
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ③こたろを使うときは火のそばを離れない。
- ④コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

6つの対策

- ①火災の発生を防ぐために、ストーブやこたろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- ②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。

- ③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
- ④火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- ⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- ⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

西臼杵広域行政事務組合消防本部
Tel 0982-82-2900

～第61回全国糖尿病週間(2025年)に寄せて～

宮崎大学医学部内科学講座 血液・糖尿病・内分泌内科学分野 上平 雄大

皆さんはブルーサークルをご存知でしょうか。

世界糖尿病デーのキャンペーンに用いられる、青い丸のことです。

ブルーサークルは、糖尿病に関する国連決議(糖尿病の全世界的脅威を認知する決議)が採択された翌年の2007年から使用されているシンボルマークであり、国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインし、「Unite for diabetes」(糖尿病との闘いのために団結せよ)という意味が込められています。

また、世界糖尿病デーである11月14日には糖尿病の脅威啓発のために世界中の様々な施設がブルーにライトアップされます(過去に宮崎県では県庁本館や古賀総合病院がライトアップされています。今年は11月9日から15日で県庁本館の他、都城市北諸県郡医師会館本館、日南市役所がライトアップ予定です)。

世界の糖尿病患者数は5億人を突破し、今後も増加することが予想されることから糖尿病はいまや人類全体の健康を脅かす病気となりました。一人ひとりの生活習慣や治療の継続はもちろん重要ですが、一人一人が糖尿病を正しく知り、理解するなど、社会全体で団結して支え合う姿勢が重要です。

11月14日の「世界糖尿病デー」をきっかけに、あなたもブルーサークルの輪に加わってみてはどうでしょうか。

